

## 主要な業務内容

### 預金業務

預 金／当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っております。  
譲渡性預金／譲渡可能な定期預金を取扱っております。

### 貸出業務

貸 付／手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。  
手形の割引／銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取扱っております。

### 商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っております。

### 有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

### 内国為替業務

送金為替、当座振込及び代金取立等を取扱っております。

### 外国為替業務

輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。

## 営業の概況

平成17年3月期におけるわが国経済は、設備投資の増加等を背景とした企業収益の回復が、雇用・所得環境の改善や個人消費の回復に緩やかに波及するなど、総じて底堅い推移となりました。

この間、金融界におきましては、金融・資本市場の安定とデフレ克服を目指し、政府・日本銀行が一体となった量的緩和策を継続させるなか、大手行は「金融再生プログラム」に掲げられた不良債権比率半減目標を達成する一方、地域金融機関は「リレーションシップバンキングの機能強化計画」における集中改善期間の最終年度として、中小企業再生と地域経済活性化に向けた取組みを一段と強化いたしました。

このような金融経済環境のなかで、役職員一致協力して経営内容の充実と業績の向上に努めました結果、次のような成果をおさめることができました。

### 社債受託及び登録業務

担保附社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。

### 信託業務

土地信託／建物の建築等を行い、土地、地上権若しくは土地の貸借権を管理・運用することを目的とする信託であります。（なお、土地等の処分を目的とする信託は取扱っておりません。）

包括信託／土地信託引受の際に信託財産として財産の種類（金銭、土地等）を異にする二つ以上の財産を一信託契約により受け入れる信託であります。

### 附帯業務

代理業務／●日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務

●地方公共団体の公金取扱業務

●住宅金融公庫等の代理店業務

●株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務

●中小企業金融公庫等の代理貸付業務

●信託代理店業務

保護預り及び貸金庫業務／有価証券の貸付／債務の保証（支払承諾）／金の売買／公社債の引受／国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売／バンクカード業務／コマースシャル・ペーパー等の取扱い／保険の窓口販売

### 〔預金・譲渡性預金〕

預金・譲渡性預金につきましては、投資信託、個人年金保険など預金以外の資金運用ニーズに積極的に取組んだこともあり期中310億円減少し、期末残高は5兆7,894億円となりました。

### 〔貸 出 金〕

貸出金につきましては、資金需要の低迷に加え、不良債権の償却及び売却によるオフバランス化を進めたことにより期中824億円減少し、期末残高は4兆5,427億円となりました。

### 〔有 価 証 券〕

有価証券につきましては、期中1,374億円増加し、期末残高は1兆2,606億円となりました。

### 〔損 益 状 況〕

損益状況につきましては、資産の健全化を高めるため不良債権処理の促進を図る一方、資金の効率的運用、フィービジネスの拡大及び経費削減を進めました結果、経常利益は214億45百万円、当期純利益は123億3百万円となりました。

※〔預金・譲渡性預金〕〔貸出金〕〔有価証券〕の残高において増減の基準となります。前期末の計数は、旧両行の計数を単純合算いたしております。